

九州地整港湾空港部「令和8年度国土交通行政功労表彰式（部長等表彰）」開く
みなと総合研究財団が優良施工業者（業務部門）、西土井氏（同財団）が優秀技術者（業務部門）を受賞



（左から）表彰されたみなと総合研究所の甲斐氏と鈴木部長、西土井氏

九州地方整備局港湾空港部は31日、福岡市の東福岡第二ビル（博多区）で令和8年度国土交通行政功労表彰（部長等表彰）を開催した。今年度から港湾空港部長表彰が新たに実施され、今回が第1回目となる。この表彰は令和7年度に完成した工事及び業務の中で優れた成績を収めた企業、技術者などに贈られるもの。

今回の表彰では、（一財）みなと総合研究財団が優良施工業者（業務部門）、西土井誠氏（（一財）みなと総合研究財団）が優秀技術者を受賞し、鈴木崇弘港湾空港部長から表彰状が手渡された。

鈴木部長はあいさつで、「受賞された皆様、誠におめでとうございます。皆様のこれまで



あいさつする鈴木部長

のご尽力に心から敬意を表するとともに、お祝いを申し上げます」と祝意を表した。続いて、優良施工業者表彰を受賞したみなと総合研究財団について、「港湾機能の維持と生態系の保全を両立するための考え方や導入手順を整理するとともに、マニュアルや広報動画を作成いただいたことで、九州港湾におけるブルーインフラの効果的かつ実効的な導入が期待されます。また、得られた知見は技術力の向上や業務の標準化にも大きく貢献するものです」と、その取り組みや成果をたたえた。

また、優秀技術者表彰を受賞した西土井氏については、「発注者とのコミュニケーションを密に図り、相互理解を深めながら綿密な検討を進めていただきました。課題が生じた際にも迅速な情報収集と的確な対応を行うなど、積極的に業務へ取り組まれた姿勢を高く評価しています」と述べた。

最後に、「今後も皆様のますますのご活躍を期待しております」と受賞者への期待を述べ、「本日ご出席の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします」と締めくくった。この後、関係

者による記念撮影が行われ表彰式は終了した。

受賞したみなと総合研究財団は、「ブルーインフラに関する業務は、九州では初めての取り組みで、全国的にも前例が少ない中、国土交通省の施策と合うような形で検討を進めていくことが大変だった」と振り返った。また、「今回の取り組みをきっかけに、九州の成果が全国に広がっていけば」と期待を寄せ、「港湾空港部長表彰は今年度から始まったと聞いており、その第1回の受賞となったことを大変うれしく思う」と受賞の喜びを語った。

業務に携わった技術者は、「国としてブルーインフラを広めていく方針は示されていましたが、地方で具体的に進めるための指針はまだありませんでした。そのため、国の施策に合う形で、九州でどのように展開していくかを検討することが大変でした」と振り返った。また、「国交省職員が事業を進める際に参考となるマニュアルや、一般の方や企業にもブルーインフラの考え方を理解してもらうための動画を作成しました。マニュアル作成では、職員へのアンケートを通じて課題を把握し、実際に事業を進める際のポイントを整理しました」と説明した。さらに、「九州での取り組みをきっかけに、全国へ広がっていってくれば」と期待を語った。



(左から) 受賞を喜ぶ甲斐氏と西土井氏

優良施工業者（業務部門）【部長表彰】

	部	業務名	工種	会社名
1	港湾空港部	令和7年度九州管内港湾におけるブルーインフラ拡大に向けた検討業務	建設コンサルタント等	(一財) みなと総合研究財団

優秀技術者（業務部門）【部長表彰】

	部	業務名	氏名	会社名
1	港湾空港部	令和7年度九州管内港湾におけるブルーインフラ拡大に向けた検討業務	西土井 誠	(一財) みなと総合研究財団